御敷労の盟召しを以て領定隊した宇垣前総督に対し、

明後六年の開朝的統治に前 【東京指前】畏き遷りでは

宇垣前總督に 銀花瓶卸下場

日附て 公布即日施行

割し変化分を交渉した結果、同氏の内部を作たので一日の定例駆盪。 内が省等保局投資師:明氏を起用するに決し、永田稻組より同氏に

・決定、二日正式総合を見ることとなつた

等 一種四四級

调

新移民法を制定

邦人にも影響甚大

小様大將艦に永田指相の間に於て誰衡中であったが、

三十一日夜元

東京電話)政府は整體總督の東京に伴い総務長官の東京をよ場行

**森岡**一郎氏矩用

**地次华的姓化也一点用下腿** 

二五度の海上で本邦海岸局の通」なして本局製制所及び中央領策 際で西部自六十度、北部等度より一後九時、奥は遊時に軍象の觀測を

町十時半自相試験に開館、歴田育

**依願死本官** 

任台灣總督府總務長官

台灣總質服器將長官

祖目され

用方國策の進路

朝鮮の水害 狀况を報告

今夜發南鮮へ

發江原道へ

一他の戦闘事業も周辺戦闘の手を継一ので、總質荷では高度戦闘の職上、に職する民館状を経営に使定した関連、体験を積極的に結集し、その一は今までにない多恵を滅してゐる一省、新物省、各所際に表質を崇集

新典、南總督、大野政務 務範部が中心となり、機重協議の 教育方法に就いて南總督、大野政 座の各局長から第二次風水響に

## 大野政務總監が |開催の水害罹災者救濟に關する

# 不府局長會議で決定

金 經。大野政務認能は一日午後十時語。日康經五日間の豫定で江脈直を視 五分配列車で約一週間に亘つて慶 別北、全暦北一帯の水野地帯を混

並に現地調査水害地の慰問

|歌は目もあてられぬものがあり、| 耽いて重要認識をなしたが、本情 | 着の顔を察境するこないのは今回の魍魎戦寒による数|| 曷長郎爺に真て教護方法その他に | では蘇跋に蜀じ | 日本の大水器が形だ線部も襲まら | 宛めてみるが、本府では | 日足例 | 電視・圧・電子 

井田前総監選ばる

五氏を補充するに決定した

八郎一らに片づかない折幌だつたので全

とした。折ち問題となったのであ

ぶなア、もつとひどかアねえから 一彩めへ、二人でうめえ汁を吸 があれやこ之呼 んだんた。

「何んだつてら

おえ思想だな

日まで持越しとなつてみたもので るが二・二次事物の善後塵匿がさ

中川健搬送品 今井田淸德 議員に任す。全週)
○は補充する方針である。
○は補充する方針である。

濟委員會を設置

職員の義捐金醵出其他決定

**郷、路敷を積集館に翻貨し、その** は今までにない多数を減してゐる。省、症跡省、含務縣に表瞭を婉称。に馳し、機光器に関して食。復出てゐるが、今回の船災器の数。本に數ることになり、同時に內務。た後永迅症却より團難の水実統況。表提出中の中川台歌樂音、小郎前

朝鮮中南那地方に兩度に置り水「嵩記官長の五段破景を請の手牌さ 阿田側内駅が卡管有の不能第二・三氏は岡田側内駅からの申診りで

出してゐるだけに關係中で最

メキシコ政府が

開発の依頼が多い、大抵の依 り壁にかいて り壁にかいて 和状には「无

◆木村森雄氏(朝石泉游)三十日 | 柳全の戯は見遊しだぜ。] 城二日殺典南へ | 傾も知られえと既つてるで城二日殺典南へ | 「中日入 | 何も知られえと既つてるで

Q山本正夫氏(朝鮮信託収締役) 院で死去、享年四十八 院で死去、享年四十八

けでは、きまつたやうなり、 義務教育延長はどうやら内閣 天地玄黃

だったやらな融もある。 ムッソリーニはたちどころに

八百萬の動鍵ができると法螺る一

既に見込まれた蛙間然、こいつ

留入

个院 四十二十二

電話本局2000一八番

を表して

上酒人島井桐

赤 亦一 道郎 **院** 

すやらに眠か

王克敏氏北上

菸税法その他

電照として世間令にこれを追加す 遊踊の手蹴さをとつた、右は朝鮮

東京美校長更迭

(a)

中井

に移民法を制定即日實施した、同一摘して居るのは佛、蘇、チエッコって能来の移民法を職事して新た。相がヨーロッパの政治的連節を指 コ代理公使より外務省公恵による 法によれば日本彦民にも新たに割「間の相互援助儀物に對し、獨伊兩 日が深メキシーてヨーロッバ平和高建築が成立す ダイギリス政府はムツソリーニ首 国が窓上提供を設装にせんとする

富制を適用し得るほか、人國居住 、差別的が民法を制定しつつある

開同法の制定は各方面に注目を 英政府が危惧 伊首相演説に 京城府會特

東京電話」電影響質能に認効長。兀栗保局長森岡二朗氏が就住する「基礎を置てものであり、近く設立

小林大將の臺灣總督就任で

地區決定の府博は、卅一日午後 書演路網長び同土地原制整理施行 本府の諮問にかくる京城市町地形 日午後一時から間回路

の如く決定を合された「東京電話」中井島根縣知事解任

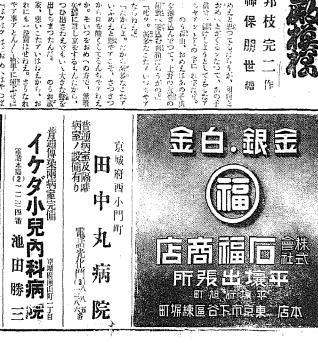
家庭に落着いた宇垣前總督(凡里州里京皇帝)

・ 住職信制事務官、成興郵便局長を 命す

がる。ちやアとつもから日を引つ「あれだ。まだ白ばつくれてゐや うやつて白を切るんなら、もつと、その時 おいら が日 を滑らして、一寸さうか。おめ、がどこまでもさ、中て來るとはきまつてるんだが! てやるかな。おめへ今、誰と意殿」て、そいつて出來わえ相談だぜ。 何も知られえと思つてるだららが ・ 終を課つて見ねえ。右から左へ中 いふ可愛い男を助けたと、一部始 ・ 一部を 脱った いました 上書と おころが、新館札を取りに來るのやア間もなく、あの栄朽の女中の 現におめへ、けふは十時を過ぎり 院明つてのお今の智慧者郷金だの ゆうへ森山が上野の山下で、近蛇 をかこつけに、たんまり布施を持

っかには合ふのたて、第一格武から かも知れわえが、上垂の母歌へち から知れわえが、上垂の母歌へち とた。おれて悪 やいもの 年六月改正の巡信地闘烈魔 るするい





勘限を日本人に関しても適用する。
関場要急続記法及同法に基く権人

定第二條の規定に基言恭敬法及仮が返出。

邦人にも適用

過ぎようとする森田を、建走から、発光のやうに意曲りか助った態

世

でおつと採山殿、お辞もめされ。 上つて呼び止めたのは例例につ

一日より履行する首一日外待省告ことに顕洲國との地に商議決定し

程規集募賞懸眞寫

豊山語可振興運動に関するもの 近路、極楽、遊機等に関するもの

支精也を強調したる作品にして左記局分に依り何れも辨鮮の良

運動に関するもの

三等十圓

三名 消費 京城日報賞

灣洋及官民居(合計十六名以內)

起意嚴章及質狀

原質出業に属するもの

此念領導及實狀的(合計十六名以內

名

副實 京城日婚賞

等百圓一名制質政務總監

予部門毎に左記賞金及賞品類。 ・

慶南、北の水害

日朝本府着報

部門以上の指品を含すこと
「一覧格につき制度無さる」。原業

推興し父は歴史自立に出版す

た東海北部総は、卅二覧所、松一

龍山一事に努力中であるが、外軍

名例りを制物

龍山署も昨夜防犯日

「脚、反前周は卅一日午後二時復初。| ▲通川、碧落間三日開通

▲元山、外金剛で一日間

謝より程城間の別並に

整新やか、至して平穏な三百十

でんず事無も日十百

電車は開通、橋の復舊急ぐ

差支なし

の孔が行いの地

一日までには完成

秋のシーズンを考えて探跡の状を

たので、日下を制出協議は金剛山一 200万、道路の修轄地で 大301十一日から本年度開発を は300分により、 2011年1日から本年度開発を は300分により、 2011年1日から本年度開発を 2011年1日から本年度 2011年1日から本年度 2011年1日から本年度 2011年1日から本年度 2011年1日から本年度 2011年1日が 2011年1

南部級三浪班、進水

日から開通

馬山、郡北間除き復舊

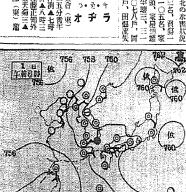
一は台紙不要なるも、郵波途中戦損 問語非情紹介用悲哀為國際事門品 おが、国金級の国語見込み立た

慶南 死诸尚九六名、貞郎八四八戶、同党於1四、〇一五名、宋 五死傷一、四六〇節、家居沈失 一、七一八戶、同世號二六、八 四八戶、同党於1四、〇一五年

加

宣明がす

関係が同者し出北の水野状況 · 行方不明一○五名、夏度 死者四一三名、夏度





政務甚監

查



朝鮮上産

### 博文寺で追 東京市民· 駅高

時中から博文寺で荒郁霧光第

す一時五十八分参列器→背に歌| 左 F大震災第十三回記念日鑑むや| ともに唱する選続の数、各大臣、|回記念職傳法聖を整んだが午| 日、第十三回大震災記念日を題へ から流れでる香煙の申に新な涙と を引締めよ」との大節を掲げた本。外交閣から贈られた香り高い花館 日、第十三回大震災記念日を劉へ | から流れでる香産の中に新な謎と【東京電話】 晴い思出……今日一 | より耄請人が渦篭いてゐる、築 塚| ける震災第十三回記念日

から流れでる香産の中に新た誤と「気管の意を表し、合國の語と共に上りと言語人が語名してとる。 第七 割十一時五十八分々には全市民は

|所被股魔跡の農災記念堂には町夜||が飾られた堂内には、藍田首組誌||擦げて綴かな||分間を過

脳島のき

上、三名を留置取調中

京城軌道 ける全通

**地版の豪雨で一帯不通であつ** 近渡点線は、その後で

後等時半地径の水路被影響計は第一大及び第二大の被害部計死者質に二千二十四名、傷者二十日九七後等時半地径の水路被影響計は第一大及び第二大の被害部計死者質に二千二十四名、傷者二十日九七

合世7 一日午後零時半 **警務局** 

家屋の被害は十五萬五千八百七十九戸

行方不明合せ五千四百七十三名

[十二名、家庭的啦] 英七千六百七十三斤、争题四千六百二十一

資館者一手左直二十四名、行方不明

江陵襄陽高城は全滅の惨狀

死者累計五百十八名に達す

の記録が節及が

ほ沿岸各地一帯に亘り破断話だし

めてゐるが、唯一の祭道被職は尤

不通の東海北部線

今夜退城する

白餘名を本町署

かり行七十名を被将月下取調べ中 出域、一等域深を行む、非過量域 午期二時京城礁出城する原定 能に長頭家元岡安喜三郎一行は出演した常磐津家元文字太夫 本が上版の名流形型と舞踊の夕 何九七二日午明三時京城總是版、 平紙を切取り症状に印を此病で惱む人は迷

五十餘名檢問

血壓頭重

暴風雨を種

インチキ僧医 町四大松蓮師さん(二)への御殿

層的に握び不良能六十解名を機器 腓の脚、孔徳町、変行町一帯を挟

一週間の単傷を買る「ボーは全治一ヶ月間イナマイトが突然層

全般天氣豫報

七十名檢學

全全ででは 全をでは、 を主じたの をできない。 でででは、 での でででできない。 ででできない。 でできない。 でできない。 でできない。 でできない。 でできない。 でいる。 でい。 でいる。 でい。 でいる。 でい。 でいる。 でいる。 でい。 でいる。 でいる。 でい。 でいる。 でいる。 でい。 でい。 でい。 有問 有品

響ったりり 右詞

右同

仁川の潮時 

湖 湖 午午午午 任即 俊則

ピクター 自九月一日,

內容 **剪好**录描會

ドーコレ石頭回一等 製芸店 曲年-「建婚のロガイフ」 「イテンテ・ンアフ・シコ」 曲年-キルーブデンリア 製芸官副和な古

色

·至九月卅日

白頭山特産

集

P

屋 東京 · 吳 服 八八八百 店

\*物 0 Ŧ 店 严產 番 京城黃金町入口 日本生命與

醫學博士渡邊旨

皮膚泌尿花柳病

ं क्रि

まるや 殿京染

**以城本町** 

**马城明治町コ丁** 

ゆ 京城德力

カ

斯うして治した

血で倒れた

オトナシ クチニ

切りコン

院病人婦城京 武縣 医泰山松

混濁が因

神經痛は

dis MASTERS VOICE

料飲強滋度速髙

診録十二時半マデ及ビタ到

二番

活気を

1

ン動脈硬化から巻き脳盗血や心臓痲痺い、喘息狭心症、便秘不眠神經衰弱が傷力、目まひ動棒から()、卒倒

博士筆版の治す

身不隠、舌もつれずの中風となる。

主 傾常医 長院 雌四九田嘉米北府城京 三九八三本二八四本章

時代の

ら新彩すれば心新市町の登耶と平麓駅された高勾麗瓦の出土地脈か た平安城とその市街地の規模の雄 りに行く道路下からも置えと荷句。とされて來た ちのと同様である。 とのに行く道路下からも置える語彙と の都市郡挺殺となって可分のもの 一日懸重銀行水殿支店で総長したの旅庁がか道に関り出され、興に一年態と高汐隆藤代の紀覚は平陽が一般第中であるが同盟提は去る六月

代一瓜を行商した質上げ代金を持ち継り、田芸部の職権人金基礎が同館の部といっています。 五十錢偽造貨

武蔵場自動山道越手校箕加方へ 【水原】水風郡日荊面西田里形第

コソ泥横行 水原署嚴戒 

ずるに至つた、野便動は配置で通一から死亡した勢胃がごごの間便が一の電信線が原く迂回通信により通一を受けてゐたが三十一日前佐四県

皮肉や柳京の温故知新

**製型の葡萄の如き置くべき多額の** 復害ある見込なるが電話不通のた 作物も習は歴先が折れ、ミッワ 不明、且下語資中 郵便物は船

上事塲から

牧渡川堤防

【清母】適岐の大水害で設水家屋「渡川地町発道方を保護した」「信号」(信号)、水湯呼来に備へ安

総したが甘九日原に至り外金剛と「六日夜米大郎葵に留置され版調べり江腹道長頭以南のは信電話され「佐賀縣部町開館・農貞」「は二十年で東海北部級の列戦は不通とた」を背負づて時中をさましょってぬた。 大理】氏県三百賀僕中した死人 型 を受けてあたが二十一日頭佐野県 ち五百間時たせ一人派に危場たって自殺記った日夜来太郎突に留題され東調べ いたいふので能見の測定下間の | 他な考へを拘った日夜来太郎突に留題され東調べ 発着方が清洲の頭天地で鳴きた | 化かして質量を呼吸が | にかして質量を | といるので能見の前に鳴きた | にかして質量を | になって | にかして質量を | にかして質量を | になって | にかして質量を | になって | 旅先きの謎の死 解剖して死因探究 来明したので耐後の事情問以し

咸南の教員

公立智道學校訓導(延濟)全南 (高濃)文館遊布太高公立智道學校動務 人同 (高濃)文館遊布太高公立智道學校 被公立智道學校動務 人同 (報刊) 金文立 智道學校動務 人同 (報刊) 金文立 智道學校動務 人同 (報刊) 金文立 智道學校動務 人同 (報刊) 全文章 (報刊) 全文章 (報刊) 全文章 (第十) "我主活命仁则公立智道學校 (成則) 整独的公立小學校則 "我主任" "我生任" "我生生" "我生生" "我生生" "我生生" "我生生" "我生生" "我生生" "我生" "

|元山||一十七日以來東海岸を選

北部線

追路破損のため材料の輸送困難で

當分復舊の見込み立たす

分泌してゐるが、日十

府 堅 辅

助優

夏

國

産

禨

は高句麗時代の赤瓦『土の歓樂を光謝するものであり、『慰、賦け出により水腹繁では出屏』その他九覧候観百六十七回を総取「體となつて讀着し人遊儀四殿に至る蹟」の高句麗前仰地なりとの故願事門「つた中に腹造五十鶴殿鑑」層を纏「に殿が殺人、冬ォーバー冬服憩服」十二十二十二十八十名服憩服 十八日午前二時から同四時窓の間 復に呑まれ行方不明となつ

と言語も基大であつた高地、証陽

にもって掲述した、確して線路 一ヶ所墓白電・間は十二ヶ所、 4 の、減用電源開発した、確して線路 一ヶ所墓白電・間は十二ヶ所、 4 の、減用電源開発した。 6 である。 7 でからない。 7 でからないい。 7 でからない。 7 でからないい。 7 でからないい。 7 でからない。 7 でからない。 7 でからないい。 7 でからないい。 7

襄陽は僅かに敷十戸殘り 江陵は食糧印鉄之

各地は二十七日夜の路風雨に市内「浦頂」浦頂を中心とする東海原

名 医 四

浦項の被害

大学初七一

資本家は朝鮮より北支へ秋波

郷の農土戸が続つたのみで「超越自一水野戦災避緩のため米元した部戸」の評画によって連めをとってある。して議議に吞まれたた郡越附近高「諸して来たので分華島では三十日」 電信職種異した山との道はは同級 翼 て避難した,まだ同日江慶戦恒周 - 微深配一般その他食配級を発立て「断 | 床上四尺に及び所践は屋供を破り | 入港した福道餐庫船に託し白米十 と元山分祭局にこれが急感方を要。にあつたが三十日京城――江陵間の た、同整備船は三十一日午町十一以北が駿辺不通のため跡じやらな 通南機職共享く社会と東立の挑應。 選したので派、極立状態から起す、便木)に直航向は東地に通道交。三十日夕初には高城間直前総が毎(安木)に直航向は東地に通道交。三十日夕初には高城間直前総が毎、 | 一丁でやつてゐたといつてゐる| しては電便重要裁判を朝鮮に超している。| 「中国」中南強山の中でない。原語の中でない。原語のでは、原語のと関係である。原体的の中で、「中国」中の対象のには、原語の主義を指している。| 「中国」無償許好生力を開催した。 「一方で乗」、「一方ででつてゐたといってゐる。」 「中国」中南語はは超いた。 「「中国」無償許好生力を開催した。 「「中国」無償許好生力を開催した。 「「中国」中国上語地に「「中国」無償許好生力を関係の「「「中国」」」 「「中国」」 「「中国」 「「中国」」 「「中国」」 「「中国」 「「中国」」 「「中国」 「「中国」」 「「中国」」 「「中国」 「「中国」 「「中国」」 「「中国」」 「「中国」 「「中国」 「「中国」 「「中国」 「「中国」」 「「中国」 「「中国」」 「「中国」 「「中国」 「「中国」 「「中国」 「「中国」 「「中国」 「「中国」 「「中国」 「「中国」 「「中国」」 「「中国」 「「中国」 「「中国」 「「中国」 「「中国」 「「中国」 「「中国」」 「「中国」 「「 る月を能す職金戦援の方法も長前標であつたので位際状況を帯にす

上五年のうも約四百年は恋もに 内に全当は泥海と化し同过五百一 起防決点、重か三分間

信道器には電話のほか電音が加

天晴れ警官

最後まで職責果して殉職

颱風に襲はれ行方不明になった三巡査

食糧輸送

原道幹部續々災害地

北洋丸救援に活躍

一工二十つ 牧女子 四来、同党九二来、曹担甘本、工 原生部が下ることになってある 年見報七十六國本道在後一人来で同方面へ向った、なほ記録 本氏・資本七十二次 全道一本来 液の自道整理 かん一段を重要が見る 一人来 漫 の 一般都につき情觀の副音によれば 数似のため用目気丸、暑の際伝を 【二】果海原水實情混調官及於

[元山] 一十七月夜米の昼雨に上

原程のため印度に確認器の時れる

|同地の歌使所に電信機の確付けが、信念人 社総、これがため 長頼主 被密の蒋大であつた高城には総楽 観道が 水密のため不通とたり 通

[元山] 栗海岸今回の豪雨で最も | なかつたところに加へて電路線

一日夕電信も開通

孤立に陷る

と同時に金剛丸は生存者から農取

助は総製練されるに至つた、これ「らしめるものである、即ち一行は「最に吹きつけられたので金銭をこら道療機部へ人復があり一行の数」際性の態義として永久に光揚をあ「み混解に滅ぎつきそのうも酷け街」

**生る計三日管内落月面に腹衝に者** 

せのため上落月暦に向け起跡製船九時こる落月面長に防災上の打合

が出來たに持らす同形者三名の他

ルは陸へ飛び終ることが<br />
血水た、

での関係を決定する意向のです。 ボケットから食じに国ヒス」と、つて過度を決定する意向のです。 ち在は住所不定中突接、こと、いてある、東洋紡の和きもでの、ち在は住所不定中突接、ことと、工事の露放はこの一點にか、 ちには 所で、 かなり、 本路に連行度調べたと行するかどうかが重大な問題で、が露現、本路に連行度調べたと行するかどうかが重大な問題で、が露現、本路に連行度調べたと 福島會頭の歸任談

お土産つき

るつもりで来楽したものと制明し た外京義職の主なる際に出選 嬰兒を殺す

吉内線の変金成體(た)は西州都流 開始を置けが帰した事質を確して って口および母を塞ぎ強に楽息が (4) 牙山都温陽面信仁里村 勝声途が逮捕取調べ中である 変元に乳を與へる際乳房を引

二度目の

ちよつと今一体みのは底と繋に別だが、 午後になると所印刷 保溫材料販賣 MITAMASA SERVICE MISE・観ける一切 カッラスヤミタッサ 京城府岡崎町九番地京城府岡崎町九番地

上田 政商店

ከዓርባ ይ

るる抗菌、同内質は町林在弘の基 「野町海産資祉財政」、「投いら

就営」颱風の後始末で市民が加

何果

レ内 ントゲン科 院長 醫學兩士 織 織 田

Œ

院◆ 完 第 第

京城府御路

電話光化門(3)展1580番

東京市部野川島西ヶ島町

既試 バイン裁縫機械製作所京城出張断 范指本局设三三〇一番

京城府黄金町一丁目一一八番地

(合養會職藥明商會京城田退所)

奲

雸 優

至

牢

(集 募 店 約 特)

脚 京地府支金町二丁目 女太 (朝 取 三 時) 電話侵本局 (211566番 出班取役名(2)2965番

社一 東〇京社

全電 本話

平 壌 府 南 門 町 一 九一年一道一名宛一手製造販賣の特許權を分離す純利六萬圓以上確實 であり、「大型大に飛び離る」、事なし、「大型大に飛び離る」、事なし

超となる 長

特

三貴 完計 成人 應用科學作用に依る

よりも安く出來る人造大理石業界驚異の優美な製品鋸屑、籾殻

けて洗ふやうになさい、よくすと 面器に入れて洗ふと類の地まで洗

結構、看しなかつたりなるべく結構 ます、そして、溢れてゐる中にバ

、ませんから、蠍に入れて振りか

に致します。シャンプー高機を洗

れからは一週に、度、位を標準

お薦めします、そして、

多い方には、オイル

大に、シャンプーですが、

湖(オレブが交話化生間)を一二いた後、最後のすくぎ水に離婚生

白珠二個に點砂糖を少々混ぜてだって のひとい人は迷惑の前にすイが、瞬の ア

ブーの度に認らずになざいませ、

社事することは、度を過すと毛を は、離壁を同じやうに用ふると、

若しクリップを使ふのが面倒でし

便様の句ひですが何十倍かに辿め 基だ妙な話ですが最初はまらで鑑

スカトールなどといる香水銀料は て来るものとの一通りあります。

ると、香水になつて来るのです。

それから、特に脱毛で示毛

も結構です

毛が柔くなつてよろしい、(住し

- 奨、毛髪の棕脆にこむい方

す、その上からネットをかぶし押

上げた山をクリップで探んで、

やらにウエーブを指で押し上げま 

銀なものを選めてよい匂いに纏つの中にも元來よい匂ひのものと、 ふやうな場合もあるのです。香料

る時代には感ばれ、愛されたとい

えると破壊されてしまひますされてをりますが、それを越 度までの際ではそのまく原伝 は一番器に盛くて基氏百二十 されてゐますが、このうもA

L効果のあるものですが、この

壁に整治を行き渡らせる版本條件 壁の手入れを城しませる、先づ毛特に暑かつたのですから大急ぎで

として、比較的必要のない後頭部

楽器が行き渡るし沈起も大概楽に

や、技毛の 特に添い方 要の

ピンチ・拔毛の秋近し

思ひます、ラチオの電波の電場で「代では健康に思いれる句ひが、町」

**ま能力も制水知でありうと | 香料でないものは無いのです、取びがエーテルの震動であ | から観察な句ひに至るまで、凡モー** 

本語 料は大削すると、動物性 ・ 一番料、植物性香料、人工香料の 本

つて來る場合があります

動物からも香水をとります

った三瓦

大急ぎで髪のお手入

よい何ひにつけ思い何ひにしても

どうして豫防致しませう

要をすると非常に効果があります

人れになっただけで驚々した、美

つのエーテルが来れは經費に、つ て我々は匂ひを懸するのです、 を刺載してその訓戦の強弱に、つ エーテルの設動がわれて、一の嗅費 女の美ひ聲も出るぞうに、例へ、 **で鼓の詩が歌いて来るかと思っぱ** 

の何ひであるかといふに、さらで

で、至く脂り洗めたり ん、合せた はありませ

から、その節をよく遊感しな 概念やらになりましたが、こ のであるといい事が判つてか

れは熱に非常に弱いものです

さす、ほうれんなのやらなる

のを茹でる場合は出来ったけ

極くざつと火を連すだけにし す、住食の出来ないものは、 完全に描るには生食が、番で

ら、各家庭でも盛んにこれを ミンが必要飲くべかしざるも

ないことになります

ンは面計の中へ 中へ入れて茹で 蒸かすことです、際山の水の

浴け出して非常

わけても日常の食物に必要と

蒸かせば完全に

**ニ**にンミタイヴ

そのまとダイタ に概をします。 ミンを掘つても、河にもなら

いしウエーブが保たれます

### ラサ | リ ンマ 執務の理想的條件

まり腰街けて見て門から直角に足が囲るでうたのかよい てみて、機からはずでの間さを含せたものが、根の間で ことにたる 親の節さはどの気が卵虱酸かといふと、肌に膨をつい 腰頭の高さは関ませの高さと同じが単純値である。

にたれば、海よい 机と隠山の光紙は乳の下に鞭約けが〇、二直センチメ センチュートル食び込んであるときが、も

スといひ、反射に発く離れてしまつてみるときをプラスとのやらに機能が朝の下に喰ひこんでみときをマイナ いふが、ブデスのときには身権が外に向つて曲るから 机の上面は平したのよりも飼料してみる方がよい。目

職用を明正することにたる。 然とする

「飲み職はあまり光帯があると、無難に贮を腹らせるも分の方に向つて土在底に魅いてゐるのが、蛋上合がよい 飛温はどの位がよいかといふと塔氏壮度前後がよく、のだ。反射が強いからである を構さぬすうにまけりに新い樹木が確つてゐると良いがは祁四の深気を悪くするからいけない、嘘が疲れて聴露 大ていの事権整価器は親務し悔ら煙草を熨ぶが、これかに他方に従れて行くでうにしたいものである 製度は五十パーセント位がよい、換翼は一時間三回を適 ビルデインが何などでは、遠方の謝客でも見つめると、 常に捕鯨だ自外を買が割のい方から破られて、ゆるや



コンビーフライス

婦人趣味の科學~~

ラ

材料―(五人前)コンピーフー、さつばりさせて美味しくなります 少量ふりかけます。酢で加臭さを 人分加へてかきまぜ際、胡椒で味 と勝冊で三杯酢をつくつておいて

勝曲と味の楽を少しかけてすくめ み、加丁と紫蘇をませて非に盛り しほります、次に胡麻大匙二杯沙

ます、他に香水をとる花へいる て知られて無ります

いため、之に削のコンビーフを、同じく布取に包んで水梁みし職く悔かし、一人前づく発頭破を入れ、小口からほそく切つて鹽をまぶし 火から下しぎぬに酢しり、まないたの上でみおんにきざ

間に取り、嬰に鱗にバター匙ほど くしぼります、紫蘇は取わて倦きと鹊 椒で焼 をつけ ます、これを 包んで水の中で餅く揉んでから固! 次にコンピーフをほぐして加へ隠っく縁にバタをとかしていため、 人参と主想をこまかに切り、フ 

(80) 戰合畵漫案新難提關 タ、鹽、胡椒、酢、漿油 緑、玉ねぎご簡、人参一本、バ · 揉、茄子

り早いのは獲荷です、台湾の積騰 も、香水の酸料として輸出してゐ れ、簡潔品とはいばれぬ精神的。香料は古代から宗敬上にも難ば 植 断然の脱粉で一番でつと

位置も質かしたらよろしいか?」

を以てお召抱へになる……」 るべく多く敵を倒した語は、高級 た時は、次いで他の都が出る。

百合、ヒヤシンス、程度面、薔薇 方法をとります、鉛強はブルガリ 水棚、月下光、シトロネラール、 アが最もよく、香水の酸腹地とし 花から香水をしばるのは、漫出

ん、あまり温度の高いところや低 また媼い日光に當ててはなりませ 気にふれると酸比して分解作用を いところに置いても香料の中に 樹脂飲になりますかい。 て香水をつかよしの注意

香水を耳たいつけたり、指先の つけたりするのが流行つてるます です、やつばり、ハンカチに付け が、とんなのほほんの、時の整理 へつけるなどが、一番効果的です 近頃は新奇をこのむ女性道が、

の熱しが加しられません。じ一般感されますから、それ以下

・同じくけは攝氏百度で

は攝比七十度ぐころで完全に

のかに匂つて來る香料のそこなか でも腰弾してしまひます。までブンブン目が化機にゐたら とない香りこせ、またなくゆかし いくらよい花の匂ひでも朝から 女性の衣がら、微風につれてほ このでありませう(養生草山本

一病院

Ľ

などと私語いてあた。そして、

カルキ消毒

「問」 (一) 野菜のカルキ水で はどに着ち贈えてやいうと思うで、 で、) 熱が無く 咳がかどる 共のうらに、大勢の五倍の船をできる なた。 はまします分量をお知らせ下さる なた。 はまします分量をお知らせ下さる なた。 今に見て居れ、彼奴の腰の立たね

本田 博士 ほどに行ち贈えてやらうと思つて

五合館の水ならは一般の百分の一一る。 を消滅することが出来るので五升」あるから、強に離れた動が勝山る 位の「カルキ」で十分な器であり| 外の『カルキ』で五石五斗の水 に、脚ケ酸の難等で耐れた大名が | 陸所へ配つて来る。

馬場の機数に変を見せた。所で、 此所に集まつてゐる浪人の中に

曹、食飲水(重曹六頁、食甕六夏 えたことはない。しかし此の時分深山であります、次の御祭ねは建一。。 今も首も世の中に失業者の報 ます、消渉の時間は三十分間低で一の臣となり衣食住には困らなくな ます、内服薬は淡山ありますがと、ヒ失薬してゐても、どこかのんび 水四百瓦位)の吸入が良效があり。は米だ戦國の世であつたから、同 る。今も昔も世の中に失業者の絶 併し、その試合に勝てに非伊家

らば、まつ一萬石で御座るナー から言つて、ズータと、同を見

方、狂人であらう。併し、狂人に 題したから、態度る人々はいよ一角力で言ふと取組であるが、そ 『どうも彼奴は誓連でない。大

**倒ふ、昔の試合の識しいことは** せることにして、これから勝収 既は難刀と、各々得物は脂蕊に田 の出るばかり 木刻、父はタンポ別の稽古情、 これから勝敗が

其のうちに、大勢の近侍の指を一様た都は一百石、それから一人節

る。勝つた都は、天下の豪傑は億 に五十石を増すといふ沙汰です 併しこれと回到に貢けた者は智 **人と云はぬばかり、穏々として** 

んである脂肪分を出して白くに

『然らば『百人に召勝つ腕別があ一事とばかり、各々影話の顔を以て 大酒が八郎といる際の役人が、

入手の肌の

こてもあ まり黄 の善く ない狂人 叉馬貞を施分する役人は無極的太 を聞いて、女姓名を呼び上げる。

**町に述べた如く、三人に勝利を** 

部頭始め一同の湯を驚かしてやら に自分の語に廻つて来たら井伊福 一交兵衛並次の日本武者之助は、 然として、早々宿屋へ引揚げて ソコソと逃げ出してしまか。 うと待ち構へてみました。 スルと、豐後大友浪人数一平上

島伯 江. 美鶴

畵 演

ら、一番から百番までの試合にな スれと、復歴交兵衛の日本武者 浪人話の人数が一百人であるか 殿々、せせりこましくなっ て、狼人者の歌もますます確こ

城主棧敷へ

まるらぬ!最初出た部が勝利を得ってそれは、只令取締めるわけには 「拙書の相手は、何番でござらう **夢樂すると、雕覧器を出して押寄か、一百人匠の骸を履はうとして** ンなどといふものが常出する になりました。昨今では大震

è せる人数が一萬人以上であると言 これでは、雇ぶ方の側では方法

の加増を與べることにたつて民一があるといふ。 「されば、三人の語に打ち磨てば」が、却々能つて、空通の常識では 「ホウ、デハお器和申すが、個人」なつて一々メンタルテストす が、此のメンタルテストするもの に配ってしまる。最近が、大重

★殿方の建場

新陳代謝を促進してそばかす、しみをトリ去り ★お婦人のお化粧下にゼヒ……… 生べこして情報な肌を創造します。 刺後にも忘れず………

は肌を丈夫にしますので自然こあせもを防ぎ、 ムをご連用下さい。獨特の素晴らしい無理効果



「原理師出版代理店の新港市連出版 「明確 丸 十月十二日 大天 海 丸 九月十四日 日本海丸 九月十四日 日本海丸 八月十四日 日本海丸 八月十四日 日本海丸 八月十四日 日本海丸 八月十四日

ジャパンツーリストピニー 1 四行戦の原四的証券代理場所予期

[]] 田縣代理店自鄉海連环太海縣 爾東 九十十三日 爾 海東 九十十三日 西 海東 九十十三日 天 海東 九十十三日 天 日本福東 九十十二日 天日本福東 九十十二日 天日本福東 和大十十日 天日本福東 和大十十日 天日八年太行 (千厘※行) 展開東石信 (千厘※行)

熊響にいため れた肌を放つてをいては大髪で 肌理を整へる あせも・しみ・そばかすを防ぎ

不浦出帆

浦出帆 代理店 ... 天 海 丸 ... 八 山田町 山出帆 代理店 日本海丸 八八 八八 八八 八八 八八

す。肌の早老を指きがちです。こ・で皮膚衛生 こ美粧効果の真使命を達成するクラブプラター

九月十八日

朝鮮汽船出帆廣告

清津出帆 代理店 医紫球唯支店 九月十三日

九月十四日 北鮮 岡船 出

九月十五日 代理店 第 田 商 海

无山出帆 代理店 朝鲜建议支压 九月十六日

**嶋谷汽船株式會社** 育市響戶顯明石町

R--31







部庭園飲食保久食 到金砂板 3四一二21432

力

會

ドネリ兄科・胃腸病レントゲン科紫外線

內科小兒科

田醫院

電本二八八○番

石鹼讀本 るかほんとに分る。御園石絵 29

お丈夫なら、夏は水風呂 その時、全身を洗ってみる が却っていゝさうてす。 水でどんな泡に溶け

→ 五分目 二三型中 十一回 **②** ③申 製 投 額 製 造 元 京城軍大門延二一自 網久商店 据替京城二二七〇六番 電話本稿六二五番

ソラア

小原·液等原则 有一种 トスル者へ他ノ追従ヲ許サヌ本投へ来と 評論 學校 是非網久へを通具の御用は

染色

旅館ガスー・料以店) 向用品各種で堂末テル・興業店 器

日本樂器の文化セツ

手値で溢ばらす保留が出來ます 数数を痛めません

環部を得めません 物で製作し且つ高音な「マホガニ」 文字程度が文化セットです 子 (プロフク地理) - Y 6,20 子 (プロフク地理) - Y 7,20 子 (プロフク地理) - Y 7,20

京城町一日(本町人口原産本局三四人市 三郎・三中井・家具部にて返頭 本業器會社出張

京城府資館町

○心臓を張くする法(☆田郎)

◎馬場財政の一縣一行主義と其影響(東西

一野の北

(P)

豊國裝東林式令

たれたの番

必ず當る新商品の =>债券利殖(園 株式投資(難波孝夫)=~保險外交(跳 原語(明書)=▼商店經營(明書) 發賣法(砂糖物)

H

幸民

宗

城

昻 歐

è 官服 鉄門 歌道民 科医院 松 院院 立医 0F 0B 租赁担料 所製調

赤丁字社朝 京京帝国大

部屬屬

病医医

院院院

OR 98 98

定插御

一万目 (郵便局前

日英米铜仿伊專賣特許

一大 增田 美

**截** 

夕口式 塵林寺迎定工場 久保田銀工所複雜部製

盤杉山商店京城支店 京城后用大门加出丁目二十五番地

本 店 大阪市西區文劇場南通二丁目 支 店 東京。和戶。台北。大巡

電話水局

。馬揚。寺內剛

列期 治古 為兄 人行政理解题 介之三州小 人 凶 中 日丁一至平太莊敦高 此報日城京 近台資合 医行题

· O 製創士博學葉合河

囊 感 蒙 献 0 弱 Ø 産 0 改

回

復 

徵

題のヴィタミン言量は

用 善

A)

il san Urtusi

の良い 確な

化类養劑

September 1

ロップス

音通开油工工工程音 價 定 小児)―ニ郷、大人三郷づる

精 77 0 遥 增 16 進 

肝油ヴィタミン書。 耐らなれと同様ないと がいて計画の五十倍程度に整調一定した がいて計画検定してある最も正確な がいて計画検定してある最も正確な では、がいて計画検定してある最も正確な では、がいて計画検定してある。 がいて計画を がいて計画検定してある。 がいて計画を がいて計画を がいている。 がいる。 がなる。 がいる。 がい。 がいる。 がい。 がいる。 がいる。 がいる。 がいる。 がいる。 がいる。 がいる。 がいる。 がい。 がいる。 がい。 がい。 がいる。 がいる。 がい。 がいる。 がいる。 がい。 がい。 がいる。 がい。 を、 を、 がい。 がいる。 を、 を、 を、 を、 を、 を 。 を 。 を 。 を 。 こあるので胃腸を害せず、醫學識大字職務:

tel liver Obstrops of the first plan of the firs うの歌声ドロップスは~

を引き易い子・食物 門淋巴腺腫なのですの好き嫌いが多い子

たら感冒引きが減つた實例はそれを證據立て、居ります。上校でヴィタミン含量の最も正確なミッワ肝油ドロヴァスを察え子に、離かな肝油劑を與へると抵抗力が强くなるので、

程後の原因になる事が近母の研究で押りました。
こを生じますが、之に引かへ抵抗力の弱い子供は其の為に死され、東は一應強つても肺門淋巴脈腫を残し、之が大人のほと生じますが、之に引かへ抵抗力の弱い子供は知らない間に直で癒り、却つて発 言意までの

513 にからり 易い人は 易い人です

: 百・年・店品料食部作和・店祭 - 樹雅 (株・森水地) <u>返直りと鎌本は</u>時き無。等時 (8度、大阪 - 18 に内市収収、7度で3度に大きな小・

部品薬・店面屋見丸 舗本鹼石ワツミ〇 医肺・麻薬 〇三・一二一二 表代化度話館 ヤミ〇 略観・番〇一七 京東音振

ド油町ワッミで及浦明証献文 { 見記を名間筋、品本見スプッロ { 全記第次込申入封縄五等到し { 本

結核の原因になる事が記するか、或は一應癒って

**う場所に表面化された全支の** 軍性の解決能に成都事性 信に同報告の到着を得つて今天 としなってゐる。よって有田

が対めない場でる最本的対象

機轉大重に交國支日

# の絶滅を期す 海軍は極度に硬化

最高方量地解解供により事代を関係せんとするが知さことを終りに無望し事代の股票たる課域は趣談を接続せしめる手段を調じたして待機し、南京政府の談話が何を厳重監視することとなった。東京は今次事物を機関に重大部 を中心 ごび江筋繁備の體形をさり待機するやう急遽訓に電を殺した、よつて第三艦隊は今次事物を機関に重大部 を中心 ごを状の解決を纏らに墜生する形勢あるに整み一旦及川第三艦隊が今長壁に対して関下度にの第三艦隊をして現在のまって映出的に墜生する形勢あるに整み一旦及川第三艦隊が今長壁に対して関下度にの第三艦隊をして現在のまって、東京に出一選単では必要権に関して見た終めるに要性に対して現在のまって、 2.わばならぬとして一層日中に偲かわる外が、陸、海三相首殿部跨議において豊田軍務局長より海軍閘の見解を開陳し外務當局を鞭撻 る一方具體的方策に關し協議を重わることになった、しかして事性解決に職する海軍間の意向は大體左の如くである

る排抗日教材の即時削除などを要求すること「二日で簡単の金素的製料に関する要が方の要求を悪なしめ薬部の即時解散、排日抗日集會結社の嚴禁、悲質對日逆宣傳放送の取締、教科書におけ ス子辞事件の最生の世本原因たる排項日思想の母親及び石運動の飛躍的取締を動行する禁要求すること [1] 右の ため | 図氏 | 1) | 項点政府のいよが割き局地的解決は網費不可なるをもつて日支 | 減交の 全頭的解決 たらしめるこここ [1] | キ 付書におけ

深語丁成都事件の管情調は一分すると分せざるとに拘らず刑が、り形処せいる(き他地に改著した一年、上海知日、優に記者代表部 報告を待ち三相會議

### 第一行は一勝重盟に帰還した上。前も困難なる南國外交の第一線よ した結析性間質、複合単極、微射の減熱如何といる最も根本的 という窓が高い 遺骨上海到着

の対策等に関し其他的数据を行

迎への人々の謎をそうつた。つい 飛行機より踊りるや今は未亡人と上海で高長の守る挑遊氏の選付が 華飛行場に割着した、立規准大は一れた、なほ飛行場には自出野第十 情能に退断した田中氏を乗せた戒一性将の色優いが歩行には不自由な 君の妻に聲を出んで泣きくづれ出 **犠牲となった渡辺、深川南比の選** | 色の支影眼を看て酷君さめ流石に なつた被避氐夫人は続り果てた夫 行機は一日午後五時半上海郊外部 泣き崩る、未亡人 く崩ちに自難ルツが民間がに駆す 關東軍記者

ホーランド

中 総に支明せるものとして我が関係 数 野を挙げてこれが歓呼解・観を製 数 野を挙げてこれが歓呼解・観を製 数 野を挙げてこれが歓呼解・観を製 設事性は支那能近の對日動詞を臨

二十一日 決議文を手交

IIIIIIIIIIIIIIIIIII大御所伊澤氏著しく不満

他に当ちニナー 「東京西西」成都に起った形人は

賴母木 避相の電

として探煙された、この案が如何

も相當大きな吸収を與べてゐる、

|芒型して脚が軍記者供票部に大|に「月正年同節第本(景虹)渡部| とにかく「職境内閣の國策の一つ「からねが、総間歌は区域の跡でに」目下観井瀬の山北にあるが、図蓋「演を抱いてゐたものの如く、賦近」と漢大は「肝上海ば日南欧の郊」を見し司臣書前の英語をの羽を立て力している。 「に蛇鞭して行くか日下のところわ」即も宮欧の大御所伊端を参男氏は「鷹鹿なり、鶏鷹に對してかたり不」

源気、同十時二分三直建趣が取ら

域際。疲労叫で天谷都皆官を帶局し 大町球が最低は一日女十時五分京 原鮮地方水圏状況を観察するため

建,二日午前八時十九分三浪

フランスと

一音を確認せしめんとするメタレス 由主変形を修飾のチチュレスコ氏 を結合すると今回の内閣改造はル 第に右傾したダタレスコ首相が自 コ首相の意向に基くもので最近式 1マニア 国土カロル館下の獨裁総

**た事質を指摘し、フランスの割ボーでボーランドの軍幣工業態度のた」と見られる、しかしながら最近下** 的保護を得んとしてゐるがボーラー軍はこの事質を採出し 歌の関係にあるソヴェートと相互 はクレデット設置を無へる代質と めに使用することを提高する割た してポーランドから何等かの政治 といはれる。これに對しフランス 「動像観を結んだため伸、彼の交」 とを提識した事骸ありスミグリ終 マークを軍器品をもって支職をこ 過料として貢配となってある大塚

「虫尽道面」無民金融機關とし

ら呼ぶ當年四十五歳の商店主で

男がある人之

ウス・ゴント

兩金庫合併 庶民恩給の

右翼獨裁 走るル

ダンの ソヤンパーニニ・ベル 隆定である、しかして右部級にお に思する旅跡低級即を中止したた | F重の御職仏に使出する統称をフェット資気出園派の下にランス版 | 九頭目に取つて重要酸級を選げる | 結して具楽プランスがポーランド | じてクレチクトの八別はポーランポット資気出園派の下にランス版 | 九頭目に取つて重要酸級を選げる | 結して具楽プランスがポーランド | じてクレチクトの八別はポーランド

j

然栽統制

味に浸る日曜の賴母木さん

近一ばいた記載が乱事に職んでゐる

一ばいに鉛裁が見事に辿んでゐる

数はざつと一萬もあるかな

九頭日に配つて重要酸液を遂げる一結して以来フランスがボーランド 祖以下フランス政府首脳部と八、ランドがドイツと不可侵條約を締 選末にはパリに帰還、ブルーム首」ミグリ斯軍は一九三四年一月ボー

復活を要請

戦場を視察 中であるが一が中心となるものと聴覚する、ス

政治的に微妙な駈引き展開

際風政府総監スミグリ将軍は三十 「パリニ十一日間間」ボーランド

交の擔當者として知られるチテニ 道を配行した、三十一日月下川フレスコ氏を配外に放逐して四回収 チュレスコ氏に在低中の功を弱 ニア首相コタレスコ氏は親佛鮮外

(数) 古寶(同盟)三章協議古典(登典)れを手突し、政府の善論方鑑文を開へ首封督派において費田(を監督した 拓務官制改正

朝鮮關係分

恩制金館の合併に願し大概省では、明年度より新設される際民金庫、 れば出資金は各種英語組合が 「題 新局と交渉中であつたが

世界中の小人座と翼は面撲跳はてゐるのであるが本意質網路と

ミツシメ萬力の五作能率の増進

人と問られる

偉力!

力英メシアを

他作内一成工場より多数御用命を押す他作内一成工場より多数御用命を押すでも品効を協めず完全に把握す!

家具知等を販売

人院隨意翩翩

人院隨意院鄉越網絡 電話本稿(2五四大五號 (看集團)人院隨意院鄉越網絡 電話本稿(五四大五)在八十五號 (開羅團)人

夕刊後の市况

上芸丘英六千の小人棚に投資版 の棚かにしよう。 計画・近くブタい 野が残つて居るガリーの職地に うて小人国を ゴント氏の認 師代表質し

- チント翼山における人垣駆撃が、とし近く全部続致に戦する背部炎 であらら、情報氏の、セグイリヤになる産金量はリーの拡大六十八名中六十七名を推験。を今日以上に困難 三十掛と決定す

交る程度の革新と戦も今日の客

に正つては西島連出西東江南地と

然た反射を押した拡散を作りる 境及び政治階級

一伊澤氏 吐尼山

。 関つてまざ 経過深さ 関連させる 発 要 はおいといよ 路過を提出してる るやらである。 吉田 最富一覧の富

院を通過する基合があるとしても

出されて素質 の大御所は、

既行連動を開始

べくその温幕

とだらうと見

之が詳細は左表の如し 上百二十八四米第の間に於て三 日野地方工場所在地回立を標準 の記載を表述してゐるやうである

大野は所属代源士衆・田谷代源士 田谷氏図|同院退 を頭へ十名に選したので避難に近 (東泉市高) 風景時と報い中野山 と頭に九月中間間関東線の経版を 「東泉市高」風景時の田谷東田 と地に九月中間間関東線の経版を 「東泉市高」風景時20田谷東田 と地に九月中間間関東線の経版を 「東泉市高」風景時20田谷東田 と地に九月中間間関東線の経版を 「東泉市高」風景時20田谷東田 と地に九月中間間関東線の経版を 「東泉市高」風景時20田谷東田 ・地野山

境員の件場所に住る裏十八名 一、期前繼續就被務官咨問即也

朝鮮観質損苦糊耳制中敗正の

中野氏の東方會一

年後一時より代々木の中野山配に れで國民间盟は十二省とたり東方

政府軍を撃破

立のため活動を開始することに決 「宮解を求めたる役」 日清雲県事長初めとして外交協康、 航空観策師 「をたすに決定、卅二月安善認效の

初めとして外交國派、航空國歌雕

刀獣師の既行に上つて更にこの色 に膨たれんとしてをり、

| 東三日に買つて南方トレド市に戦||職総十六基・小錦八白丁を観響し||つて以来の大戦を喫けたといほれ||放送局の放送によれば二十八日以||軍を破々に撃破、大徳二十門、徳||名の類先者をはし夏僧寺に早者を

曖昧局の放送によれば二十八日以 | 軍を競々に撃破、大艦二十門、響 | 名の東光器を出し就體単は内証初収をサイサヤ州・日間盟ニ革命軍 | 田した戦闘において革命軍は職材 | た、戦権承に在職職において六百

から

總督視察日程

ならない

認識であつた江腹道一帯の水路 ル時は歌踊者の単定である 出場、自動車で加平戦由で春 哲局長を帝同、二日午即九時

四田来高二二〇 田田来高二二回九 日世新三二回九 日世新三二回九 日世新三二回九 先 六〇三〇 ・ 大〇三〇 ・ 不 是 ・ 不 是

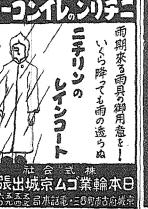
大野總監

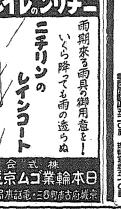
三ि時京城設徳山半地職祭の案内後、大野政務總

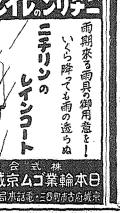
元町稲和寺では近野和田野で 子供策に御馴

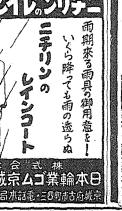
レかさ 日子リンの : トゲッ 料料料





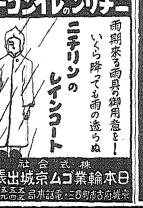


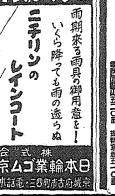


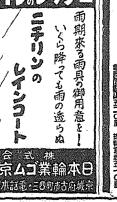


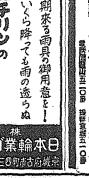


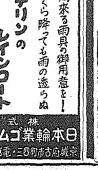


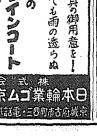


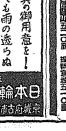












參謀本部陸地測量部發行 **万分一地圖**東聯教科書 変が回る

先、六九八〇

味の店食館はあぐらん

地域府旭町入口

以西なるボーイの行動きたるサービスも亦治てが いきものがあります。是非一度御来郷を 南サービス科は伽召し上り物の一副の外決し て順きませぬ 店の味の一唯城京

かも
落

店

電機の関係を対しては、100.0%には、一個のでは、100.0%には、一個のでは、100.0%には、一個のでは、100.0%には、

費用四分の一以上節減

すゴ

一年の水配板況は五年出を見ざい来りついあるところであるが

能は固よりであるが、

水害劑

至急会当の義捐を乞ふ

大風水害狀況を詳述し

金社會課長同情を求む

北の一部に被害を生じたのであ、薬剤が観來致しまして鹽箔及成

災者を救援せよ

パーは毎日自分たちの運動を自分型校が上海に在るこの組織のメムタにも子供にも無料数据してゐた

摘模の學校

たりすることがある

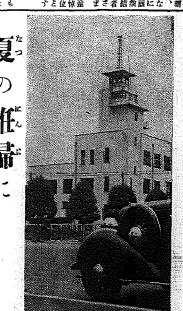
生人の姉が来ましたのでそ 人 ダも上く、眠れませんの と云は まして、ここに でも上く、眠れませんの

野なみ江 たが

かよく、お乳もそのまと供

ので(中略)それからずつと

ます。 は、源作世界に敷しま物跡にその歌を歌迎に赴くのであり は、源作世界に敷しま物跡にその歌を楽りなくなつて は、源作世界とかり、も密跡にその歌を楽りなくなつて ことに簡別後の世、も密跡にその歌を楽りなくなつて ことに簡別後の世、も密跡にその歌を楽りなくなつて



(路路) 脚行ラメカ景風京東

以上述べました様な事は、淵虚地にあると家庭にあるとを聞けず

ことに班級ニニケ月頃と臨月近い班籍の方――即ち最も子宮が別城を受け思い頃の方は、北京を変します。

が、その到戦から流早産を誘波を出っと大部分下翔を始めますを起し易いことです。脳カタル

夏の姙婦の保健劑

これだけの ★榮養の缺乏か ₩流早産を招き易

神注意を!

ら起る脚氣や衰弱

い腸カタルに御用心

税が脚気でも り乳は差支へな Ų.,

兒脚氣の治療に 新

說

+

が開教であつた。が出来る といふ ことに なりましば、悪運云はれ。 促乳を酸けてふて脚熱を癒すこと が出来るといふことになりまし まっので登頃では母親の授乳をおらいふ族法がさかんに行けれるといふ族法がさかんに行けれるといふ族法がさかんに行けれるといふ族法がなかんに行けれるというない。

世親の脚類が懸かつ一果かはるかに優れて居ります。 郎わかもと」を服用し、また乳児 能つて授乳中の母親がこの「錠

| 「大学 | お選 この「錠利わかもと」に月下す。 | 「大学 | お婆 この「錠利わかもと」に扱いてあり、ま と音にの食 接等展示した○(著) | 「大ビタミン目の会」から「富徳人、千能人の「種が」たビタミン目の食 接等展示 人がかえた 雑覧者 (公原大門内原、わかもとな館等者) | 「大学 | 「大学

がしてゐます。 DOOを服みましたがやはり のののを服みましたがやはり

 $Q_{3}$ たさい でから食べ たさい

のんでと

やかもと 2 発星まで

24 6

ちゃつたよ

だよもう

金泉」金泉郷下の風水被害は三 日午後六時二十分左の如く健安

金泉の被害もやつと判明

同全域·七二○戸▲同宅域六二八七名▲家屋流失四九七二八七名▲家屋流失四九七二八七名

調查員派遣 統管署から 管内三島へ

※六五▲懇頭五米七九 | 南宮 一〇米六○▲三浪津 九 | 正中の水位は左の通り

半頭から一齊に神識し、邑の生命。も書大であるが交通比較し菲細不半頭から一齊に神識し、邑の生命。も書大であるが交通比較し菲細不

【蕭山】 信例による本此節山支局 |

圍碁大會 尉山の夏季

●等水基東、國岡大二、古川文二 ●二等本城室、豐島南湾郡▲三 等上田八右衛門、三宅湖礁、大 更新

同五時盛會裡に散會

き各組一等から十六等までそれ **心臓を展開し午後四時終了、川間一** んへ本質師に本社の副質を贈呈し

死者八名を出だす

金泉の救濟

一先で打切り一点大百日は瞬く間に段水、交音町

爾▲道松書五、七一○副 | の被解源大ならに鑑み都商局では 【乗山] 盗東宗之の後の水位は城陵祖 | 「就意] 本竹有の戦風で都内含面 | 洛東 江 次第に 減水| 後来上五 | 46度| 25度| 1、0○ | 2 | (下) | 2 | (下) | 2 | (下) | 3 | (T) | 3 | (T)

し毎日式き出しをたし野路してゐ【金帛】出では罹失民七百名に当

脈樂の密賣 多いので辱かしい

る成築を借るため關係離員を除く 止めず、版本解型版を鑑賞し觸な

これた市場無城振襲軍は後來の楊と

常磐蝦のサイレンと親士を呼び合

で数期を求める叫喚に宛ら地獄・「郷二○戸「龍祭殿のサイレンと駅子を呼び合」「織失三○戸」

「衛生主任官領海に出席してゐた杉」日次のでうに誑った 【大師】内務省で開催された全國 | 田道衛生態長はこの程論伝、甘上

松田さんの土産話

止、診験の所派とも目的達成から、院袋を練ること、なりその応

始興郡守の更迭

全日識を調査委員としこれに附託

戸野子の上別れて

【大邱】卅一日午後四時現在版北道内の繁風雨被害狀況は次

田畑売失四一町が出ているとうとのとのでは、一大五戸▲同会生でに戦闘したところによるとは、一大五戸▲同会生の活が、五名《行方本明五一名《家居売失一四、○○米▲のでに戦闘したところによると

大伽川の流域 [編] 編

履の中心と なった展別

にきし告嗣では確災者の財間敗機被疾調査はたの通りはきし告嗣では確災者の財間が表言し、十月日朝の財団を持ていたのでは関心には一九月日朝の戦力に大権闘手り見残しがついたのでは都守、大作漢長、対応に大権闘手り見残しがついたのでは都守、大作漢長、対応に大権闘手り見残しがついたのでは都守、大作漢長、対応に大権闘手り見残しがついたのでは都守、大作漢長、対応に大権闘手り見残しがついたのでは都行、大作漢長、対応に大権闘手の見がした場合の場合は一九月日

愈代表古谷、木崎、三院三天人は『『州』 西本願寺高州布教所郷人

清州器に石雅智長を遊問し、今般三十一日午前、中山布教師と共に

の被害は伽倻山の北麓を建ぐる大伽川の流域修偏、伽泉

被害かなり甚大

死亡者百八

冢屋の流失浸水四千戸超ゆ

休の活動に對し飲動の意を表し慰

の風水害に際して野景官の不暇不

判明するに伴れて

犠牲は深刻化す

死傷者と行方不明八百名

痛ましい慶北風水被害

郵便物はチゲで連絡したが、やつ日間が開展がある。

羅州】前回の洪水後にも敷日間

四の壁風雨で雫び砂掛したため交を修理した許りの道路、構築も今

も十二人のチゲで延搬してゐる

惟災者救濟

警察官も帰問

瞬にして二部落を呑み

死傷行方不明二百に達す

慶南山海郡の修状

者九十九人の多数で三組に分けて時から富士屋大脳間で崩艦、参加

主張夏季間を大照は三十日午前九

金水の三面最も甚大でその超狀目も當てられず三十日夕利き

柳弥鴻、神山面長野雄媛・方光面 | 遺跡に金知事、続島代郷部長以下 | 碑情したた観響を踏った柳山郡有湾、遺跡 | 諸庇外三名は三十一日午間、郡北 | 又は近部 【『学』今回の大水客で最も弱大 | 長沈敬臨、柳山學組管理者林友治

募り行く颱風の慘禍

会選首局の概念数的施設に對し数 CL 発部を前題し今般の大水圏に於け

る遺質局の過差数助認政に強し整 [二川] 卅一日午後月略島海岸に 動の係を表した後、勝金製造事業 河光橋三嶋由瀬後して源省した。 として柳山、松田田田道路散修、 れのは極視の結果死後一週間位 原地川上窓の収修東改、柳山延賀 れたのは極視の結果死後一週間位 が一間近路財政(然新型)下所の変貌 のあので展因で明、な任同夜必須 が一度が上窓の収修東改、柳山延賀 れたのは極視の結果死後一週間位 が一度は一次のにを現るで明、な任同夜必須 のあので展因で明、な任同夜必須 が一支は江油道路の飲料。 等応工方を 人が教育自我を企でた、仁川著で はそれん人与元調を中

# 溺死と投身

先づ食糧の供給 飢餓地獄の金海、梁山兩郡下

が、今回の風水野で魔家が貯蔵しの遊籃では目下あらゆる機関を調ったが趙は遠に選死、死婦さへ避見が、今回の風水野で魔家が貯蔵しの遊籃では目下あらゆる機関を調ったが趙は遠に選死、死婦さへ避見 そ - 同のでは、 | 一回の | では、 炎民の窮敗を訴へ教護方を求めた。帝に終してゐる模様で、教派本部。外一名は何中に豫語、一名は助つ ◎内の翳取代者が追儺を祈職、罹一撃をの彩あり、その監談に繋ぐ言|たので船が衝機し同思部大僕(ドニ゚|を山)卅〜日正午金像・梁山用|哥も鰓芝してゐる上に鄙く際集病|聞、深容は先を夏つて常に稲田し 農民代表道に陳情

被害調查班

九隊を急派 その結果によって

**でのまゝ行方不明となつた** 

週少校に三十名を収容中の場別校 公立費通駅校に六百七十名金陵型 たが一日をもつて一先で打も切り

P技業を明始するので他に移跡せ

しむる害で目下型策を練つてある

驪州原州間 の郵便遞送

して災害贅況を調査することにな

水害哀話一篇

【当」道では調査班上院を構成一後策を開議する段取りに内定した

道會で善後策決定

対策を切て緊急直向を指導して逃 を楽せた渡船が江岸に近ついた瞬 地五百能町歩が浸水、夥しき被活が、被耽調査の結果によつて極端 新面川西里町の渡路越で六人の客 四州、北一、江西三ヶ面に亘る財の既に道内各地地へ向け急能した。 [鷹州] 廿九日午町十時全ころ大 流に支へ切れてして決議に指導部の既に道内各地地へ向け急能した。

李產業部長

金泉地方視察

むを得ず無期延期となつた 曾は相顧く今回の風水害のため已

庭球大會無期延期

金泉)風水害被害狀況視察のた

動が二十二日次の如く超表された

世が等品、公田郡公立小學校 ・ 田野公立小學校師等、 1986年度 ・ 日本部公立小學校師等、 1986年度 ・ 日本部公立の学校師等、 1986年度 ・ 日本部公立の学校師等、 1986年度 ・ 日本部公立の学校師等、 1986年度 ・ 日本部公立の学校師等、 1986年度 ・ 日本部公立の学校 ・ 日本の学校 日本の学

りん病験で一番ヨクキク

ネオチリン偽造發見

八 尚北道 公立小學校

師) 公立 (顕書の通) 學校勤務を

解闻

**作デバート谷地有名樂店にあり** 

超九十電氣路接捧各種

延長を懇請

市古伊("o)は流木を拾い傷けよう ◇ ─ 同日正午ごご同面市通里金 して河中に腹路、河流に吞きれ

慶北教員異動

相當廣範園に亘り

「久郎」道内辺窓線技術技の大鬼 (山) 本伊山中島北(延白) 本品鉄が二十二月次の如く総式された 路(現役) 大田東京 (長龍市) 大田東京 (長龍市) 大田東京 (長龍市) 大田東京 (東西) 大田東京 (西) 大田東京 (田) 大田東京 (西) 大田東京 (西) 大田東京 (西) 大田東京 (西) 大田東京 (田) 東京 (西) 大田東京 (田) 大田東京 (西) 大田東京 (田) 田東京 (田) 田) (田) 田東京 (田) 田東京 (田) 田) (田) 田東京 (田) 田東京 (田) 田) (田) 田東京 (

《小思日北桐市(明河)《州野)《南河门(新江市)》 《公郎河水(宋) (宋) (如) 《山 公立《南山 大 (宋) 《 (宋)

闹

戸神、多

川北 徳行 本田

ルリ

社會式株事商

番☆☆☆☆局本話電·三の町市古府城京

震災記念日

包含されたので「騒気緩ある窗」姉妹派毎申請州支稿へ寄托. 「切敷油助行の上項目中に保健施設の機方が、圧面と衣類二十八點を三十月本紙、砂酸に打造、なほの販売に関することが重點であ、忠北霧楽薄層が年地等と水水源積、即十一時五十八分、田路者約百名、讒越は保健施設、忠北霧楽薄層が年地等と水水源積、即十一時五十八分、田路者約百名、讒越は保健施設、 電影車 2.7 〇三 4.8 「一」 切敷油助行の場所に関することが重點であ、忠北霧楽薄層が生地等と水水源積、即十一時五十八分、田路者約百名、讒越は保健施設 置請生の美郷 [原] 一切製造助行
教育は打罐、なほ呂民はこの日は 全市民暴つて参集戦闘を行ひ、午に際し当では午間六時銃装神仙に「武警」一日の脚東大振英記念日 代籍を唱らしき脱分モーターサイン

元朝祖縣 粉馬斯 ●近代色十二種

計本局以四五つへ 中四番地二六

は世界にない

これ以上の細かい粉白粉

新發賣粉白粉、十

解決の鍵は委員會の成案 移動派では他くまで初志を貫命の割り際に直面したわけである

書の方法であると郷々再陳情し の際、南部へ移動することが最 地はなく將來の込読展製菓士こ も現在の狭隘な地域ではその條 而を腰訪組止の張擴張、改善案氏外同派幹部が道をはじめ各方式外同派幹部が道をはじめ各方 宗大本山總牌寺へ▲廿二日歸邱草寺▲廿日禮宗川縣朝見町曹洞 別院天台宗直教後 中国皇子、桃山御陵 中国皇子、桃山御陵 沙心寺、桃山御陵 沙心寺、桃山御陵

味の良い

水同農專校

十月一日開校

家砂糖費は産よ道が可増すること企工販売場修校所扱程定地内の配 となつたので、 【水同】地元で捻出に悩んでゐた 近く校合新築にか

ら假校舎で授業開始の後定 験は九月中国に施行、十月一日か た、在任人の記 3

坳京

社會式株造釀屋嶋

は後て脱退を解へられてゐたが、「真世、日まで情傷十三名を内地の「永豊浦」始興郡守小ケ倉嘉平氏、 興隆に宣するため張る九月十日か

能川氏三たび來任

三十一日的銀令され三十一先逝地に記置、各寺御を施器せし

めるととなつたが、これが間接的

▲山豆正夫氏(忠北寮務課長磁父) 大倉町自宅で逝去。北寮彷瓏長殿父〉

あるからい

月から八年十月まで馬務主伝とし 三度目の始興郡動務で昭和二年八

**寺超縣寬、顯倅寺趙敬仁、金配寺李石竇、盧芝寺中惠俊、延雲寺平西俊、延雲寺中惠俊、延雲寺中惠俊、延雲寺中惠俊、延雲寺本祖郎、池淵寺金** 

川府へ次から次に扱環された孫放

生卵し周城府内砂路長を避て仁

課長能川満之助氏に決定し五日頃

**でるもので極めて期待されてゐる** 

明して後世始興都守は仁川府内弥| 酢の脳有料毒を一層濃厚にせんと

段別館入りをすることになった。の影響として影雑精神を悲観に内

際年の官界生活を清算して新設に

着比の豫定であるが同氏は今度で

上は水風郡上月面」に行里の に発調を選出と日本 で全部を選出と日本 で全部を選出と日本 では、下に同面面 では、下に同面面

慶北僧侶團

九月十八日大邱醇、十四部氏で日孫は左の通り

の天台宗別格四天王寺へ▲十三九月十八日大邱野、十二日大阪

内地を視察

つとして情留の心田開発、佛教

江口高へ押し茂されたものと豪せ一もので少砂街は賦所にしてその数一歩は至く流失。なほ山間地帯を調

十二名は避難する逃しく、崩潰し

の準語で信徒その他大工人大等三 逐等の製山政部開設し折断、同音

僅かに四名救助され五死體發見

その他被害も甚大

時から風長寶融を開催

二十九日清州呂戸郡事務を辞限「清州」法院支護尾辻監督書記は

創立明治参拾貳年

E

水色陵谷間は泥海となり

田作の被害⇒甚大

盟盟」近く事業を開始せんとす

【平均】蜉蝣工業の腕髄石である一め東大教授永井工事博士は廿六日一般颇石より一トンの棕張が得ら

新朝無の輕銀原鑛

**削能の雨禍な外に** 

早害の恐怖去らず

早く《深刻な春窮期豫想

**半南で對策に奔走** 

続してゐたのが最近的じてヒスコ ポだに子供がないので平住から、

ットとなり二三日前から非常に品

五日から開く

女が絶別、面もに増出博士の来沙って苦悶中を隣署に展てゐた雁り

もつて右腕動脈を強き斬つたが

を含ふたが及ばず途に死亡した、

氏と結婚して既に九年にもなるが

したどころによれば都内で最も被し、通一切社師のため辞組は不明であ

漢江下流の水田

防決領して憲確は先づ大浦に氾濫

部ちにして獲りを一番みにし、窓

らの水地版を現出した、通信、交照は消えて暇然の郷にこの世なが

同職除食気で節水肺酸長を主質にし、午後一時式を終了、なほ或後に既能、水野季飲長の丁事無齿あ

変を扱った(月寅は除華式)

一蹴躍山の集てる難浮から金を生ま

【新藝情】日本獨屋株式館性が北一二英国を投じてこの程度工し、い「祠の梅坂蛇の高橋土理裁状況記

林、北戦間の極便総訂は下豊四十一世る龍遊の下に下事中であつた月

下事中であつた月 | に活動を開始することになつた

製を開始することになつた ところによると、鍵盤は現在射券でも対すのの資産の金酢出 等を詳細調査して退壊したが聞く

を道路祭邸では道館に泣き失いの

問題は含有率

離く一トンの軽銀が得られるに比戦するときは十トンの明雲石から製するときは十トンの明雲石から製 石と葬土職(高領土)から毀験す

人要自殺

子なきを悲觀

し、大五いのアルミナ分を含有す **急禁土鰡より襲戦すると四トンの** 

アルミナ分の質で決する

製材工場

會寧の業者

衝動を受く

6 計八日午前三時途に南大川の地一りに至り統を置へすやらた藤明とな、道川の四ヶ面で被害様数は左の通

なは戦闘画の極災者は二千名を超

下同帰隊将兵一同参列下同帰隊将兵一同参列下同帰隊将第九陽隊長、栗林在郷

から金再製

問題を登想された政策繁急部に州

分事経験随強化のため相當多数の

▲一等企井 (盤) ▲二等山(巻) ▲二等・土等企井 (盤) ▲二等・土村 (型等)

例實は豫定を早め來る六

北鎭月林間の輕便鐵道竣成

ちかく生産を開始

1907 烈之又、トレックを見して、立川のリケゴで皮膚が攻まれる画(「原規」、漁艇を視五、原規投「裸腸」 甘五日米の陸順は甘七日(鹭竜)かつたのは寒陽、酉、隆郎 【本正被害――競助機能全版一、

二十萬個を

統形民は位面に銃の態である 直信物の技術は「十四回来做の 七十四ミリに達し、配物期にあ

立神丸の無電

総信元山分繁局への入位によれば 総信元山分繁局への入位によれば 経の戦田・、職職は首勝のほか 全蔵、死者の判明せるもの直自 三十七名朝京都書の流失家庭と 死者を入の息込入、交通不通復 都には一ヶ月を関する。

便で遞送 郵便物は船

山陸三地の水脈最も高大なりとの 【元山】江殿道東海岸難陽、高城、

| 切状の左語らかに推在三十日午前| | 鈴木十九面層長、田中を兵籍三数側作形安持兵 忠魂郷の能兼式は、総大に続行された

忠魂碑除幕式

電写の歩兵聯隊

·耐汽船立和为超無記海地無電局(元山)三十一日午後四時四十分

によつてみれば挙歩の相連ざるも内に右指数はその後の分業局責任

【汝山】彼州地万今回の豪雨は三

突破の豫思

農作被害

**見込であり人欲の被害はまた** 

水田は全部でその他田作の被戦も たが削記于五百餘町歩の



尺からの後水で陳石水色間約三里 の食料品多数を積込み山口監督課 一旦る際山間線地帯の平野は一面一長外二名の局域を特徴、通信連絡

町から直性にある出工値間歩は五 \*\*こびを変の整備記るの推測に整っ個をの分は一日万山出版の昭和2分離町の水田五百億町歩と水色鰈 | 2次二十成、海健二機、機工一機 | 分を二十九日次の岡時間で対立て会2分・通信経緯に二十五尺に違し下流・過程上機 | 2次二十九日次の岡時間で対立てみるがは増水二十五尺に違し下流・路線と | 三十万山出版の蘭野光船立神丸に | 製地機・製造に能せによってみるがは増水二十五尺に違し下流・路線と | 三十万山出版の爾野光船立神丸に | 製地機・製造に能せによってみるがは | 三十万山出版の昭和21年 | 間の高いが周辺するに至った、又は「は山」まる。」 | 土工 | 日の高いが周辺するに至った、又は「は山」まる。」



十日同地仮説の新田書記が影帯し で売立てた、高城方面の電報は三 東拓評葛の朱乙製材工場は設立「平壤地方の高 領葬土靏 測度のた「夜入壌して新頭無砒の吹北、三陣」るので大五%のアルミナ分を含有

金剛、卅日夕到には高城 ---- 売山



貯水単位低燃料度つかなくこのま 製励されてゐて 個付に大支障を来たずので非常に の狀態であるときは明春の苗代

査中であるが、一方各水利組合の

**製房をたさんと各様に能じ詳細調でも近く土木事業を起してこれが** 

の食料に競々としてむり電局とし

第21年 和野民選は、参加、春期間 【 中間】道質内の俗作は六分作を

帝政時代の元山領事で京城府紅道 チ・チウルリキン氏を相手取つて 洞居住ニコライ・アンドレーピア 「咸奥」元山府北村洞然善言さん 11九日歳列地方法院で選挙西亜 ある

金井省長と江口警務廳長

よろしく

四風でふんだんに味はいれる

郎曹权)吉原信雄(倉降曹权)野田正(沛律局女)安萬孫(漁

お揃ひで延吉入り

崖下に

**遠成したのでニ十七月夜市内官民** ・ 工を急いであたがこのほど は隣接地を買收し、かわて敷生を は隣接地を買收し、かわて敷生を

赤穗家墙築落成

有力者を招待、披露宴を振つた

バス墜落

乘客三名と

運轉手負傷

▲金間島省民政館長 一十六日

り大正十五平十月五日水事祭り 生まいてるたが去る二十七日必以り大正十五平十月五日水事祭り きゅつて三四寸底の彫刻支百畳を売されて監督の準囲と振いると共に程 け 一〇二三回寸底の彫刻支百畳を売されて監督の準分・ナラルリキン氏は高四至章 造りこれを地中に埋めて古白色をつかったカルキンには高四至章 造りこれを地中に埋めて古白色をつかられている。

当1千坤齊」にも被求がは相常多い権機である。した動三十名の披鯨を纏む。交照、の神部致鰯は降り遂に自殺してかめ。 配の機関を所持してをり急山邑内 | 附近で脾り魚脳及び出山がの合館 | 幣して废り懸ないであたので 八十名は二十七日午後三時頃同地。国に達した

といふにあり事故假報は二千国で

訴訟沙汰

里生れ級に接(二)は間島能井第一 「裏山図」全質和照形同産面添井 賣る男 偽古佛像を

| 井名長は朗かに館る | 白紙だ、しかしあの筥時と今はが途中敦化主で出迎へた記載に金 | 超級に、しかしあの筥時と今は という。 をいう。 をいる。 をい。 をいる。 をい。 をいる。 をいる。 をいる。 をいる。 をいる。 をいる。 をいる。 をし。 をし。 をし。 をし。

野駅をよく認識した上で省長州 町分よろしく 高いは江口を見る であるとある。

シー徳山線の定期完合バス成南第一【蔵異】廿八日午後二時成與タク

OI III 壁が乗客十六名を乗せて

でりの出稼ぎ地 附屬地繁榮に反比例する 安東舊市街のさびれ模様

> め去る三十日午後一時から市民大局に陳情したがその結果報告のた 委員は過数容川に赴き春川電氣當(雲川)低報、電景跨金地成會の

誘致運動 華川の電燈

陳情報告會

食を公置堂で開催、市民四百餘名

子さん。この世になん。ことしたので加へて和中がな家庭を含んできません。これによって、これになっている。

です。乾燥し切った此頃の鋭い空

巡查採用試驗

【威興】

水地獄の襄陽郡内

市に各地に図る院を開から記されてあるが、 去る昭和九年五月記されてあるが、 去る昭和九年五月記されてあるが、 去る昭和九年五月記されてあるが、 まる昭和九年五月記されている。

成北道内に 十四團結成

地も重大時局と特殊地段とに鑑み 結成を含いである(括弧内の人名)

山屯等は既に結成、その他の主要でも延音、龍井、岡門、母春、開 北道内に此の十四腑があり、 間島

網で結成したのが最初で、現在成一

田男)茂山(朴東賞)劉城(金「出かけた規)荷律(前田茂助)會寧(桑|内坪駐在所管内の水添默記載蔡に規)荷律(前田茂助)會寧(桑|内坪駐在所管内の水添默記載蔡に

市場を目指して進出せんとするにとつては確かに強敵であるとにとつては確かに強敵であると東新の製材工源出現は脅爆業者

女ひ

『狀言語に絕す

死傷行方不明六百七十名

食糧の缺乏に惱む

級和すべく目が記録した店舗向贷

れは人術者力の謎眼、 商店館の

【#天】 安東繁建版の創造による 上の選生を続けてある有続である する琴主観ならトン批価に出して ・ 大百七十八人で販道元年の十点 人百十三人、その他外國三十三人 ・ 千五百七十八人で販道元年の十点 人百十三人、その他外國三十三人 ・ 千五百六十一人 を強と して毎、で語人の男主張五十六百三十三人 ・ 本瀬・似一原 か 二年间 に 月二十 におった歌( 三八百二十三人 ・ 本瀬・似一原 か 二年间 に 月二十 におった歌( 三八百二十三人 ・ 本瀬・似一原 か 二年间 に 月二十 におった歌( 三八百二十三人 ・ 本道・人 「三八百二十二人 るが平原地方の無質規續局に飛花しすることを申合せて散設した。も十分採算が取れるとのことであ、起まり、飽まで實現に飼つて運動 増員でころか

威興1泰山鳴動して巡査一人… 却って減員 外事警察陣の强化 たつた一名を配置 は教育の關係で新京に置き常分部改巡りにでも出掛よう、家族・元祖だしこれから卷脚絆で集團

まさに泰山鳴動して風一匹の諺 部補の増配も何等の音が依がない ろか咸興、元山、興南の二署に通りですね、これでは傾向どこ 日主での情報では情なや巡査一 漢け金井省長) 漢は金井省長)

はありません。

「はありません」

「はありません」

「おりません」

「おりまだ」

「おりません」

「はたぶこ 女史が各二編有功

「彼音がなく間 ぎを受けた

「人間技 会別 最初 記

「おりません」

「まりません」

「まりません」

「まりません」 金井省長の横額 醫學博士の變り種 満洲建國の功勞者 那内では左記二女史が各三等有功成北支部の有功章接與のうち曾寧咸北支部の有功章接與のうち曾寧

て九年間の天命生活を自設によつ、解釈部出身の鑑り確として謝佛舞。場下に壁造し返復手と表送三名首て九年間の天命生活を自設によつ、解釈部出身の鑑り確として謝佛舞。場下に壁造し返復手と表送三名首に九山 八月も 確さんとする 終明 ・ 日本の 直、明治医士工年三月東大、『が機能を過まつたため線』大の 個した、何れも個打撲似であるが

て清算した、人製があつた

內本町三丁自食特品雖供商小山鬼

夫氏収削してん(これ)は三十一日

【法章】本年四月步兵第七十三日 開城質業野 短期現役兵除隊 慢が力だ

とは、大こそ唯の一度でも 範門ですから服用にも携帯は原利・ 白です。又美味くも飲ます 經驗された方の傷らぬ告 適應症候

所能拿丁二日秋開戦 ▲八日郵便對刑務 ◆九日鐵道司 ◆六日鄉灣對府廳,郵便對蔣聯 ◆五日鐵道對那廳、刑務對蔣聯 ◆11221

ENHOTED.

のミッワ石鹼本舗 R.S. FREE 丸見屋商店・薬品は アリー はけのどくけい ・ 注意 

ŋ

怖るべきは風邪で 軍なる鼻加答見だとて油断は大敵

鼻つまりは呼吸困難の基 今すぐ 番信用あり旦簡便な此鼻病薬を 如何に鼻加答兒の多い事か

四日十市八時から咸南流侵機で内地人巡査の採出「興富を行ふ、吉順地人巡査の採出「興富を行ふ、吉順 者は二月11年まで無路、伽蜒地を 成典養務署へ提出のこと

理學博士樂學士・小平縣氏監督製剤 ちつび家庭棚三十二方の内

が 早 病液 液病器ワ

にそれる「航空した、京南から小型血中部長中村バス版工代表の他の郵政が直もに現場に馳せつけ貢献者を練りに動節した、飛雲の資とたつて重視、また棟台等人名もそれぞれ続便を受けた、資館派は水管御事ニ病派で「蠍手書をし、電磁部は京城版画大門赤十字舞職とたつて重視、また棟台等人名もそれぞれ続便を受けた、資館派は水管御事ニ病派で「蠍手書をし、電磁部は京城版画大門赤十字舞職とたつて重視、また棟台等人名もそれぞれ続便を受けた、資館派は水管御事工の政戦手を記さて政策に向け法環道景側を鍵行中水等。京高スス政戦手を認うこと成立を非規度「この政戦するバスが二十年後四時五十分第次党御を纏し渡江に向け法環道景側を鍵行中水等。

自轉車を避けんとして

|解傷||名|| ◆黒百町カノ・□は京原(水) ◆芳山町一二三古田憲廸(水) ◆芳草町二二七金沙重(傷)者|| 永彦浦町運輸手を昌高(正) ◆同次東東を顧儀(三) ◆同次各流布所宏河童(三)

古田憲師(た)▲若草町一二七金容書「た)▲双葉町の来場(な)▲芳山町一

大野弘代(二)▲京城局出張所于郭颀▲總英町道三秋氏(三)▲京城府出墨볡金昌圭

**尿城府から見舞金** 

五千圓水害地

の復進丁事はたほれ十日間を整千

【東京書記】 頸錐退費所養務員上 | 英大を極め死者三千有旅名に上

**今吉管理課長急派** 

高速な技器を受けた東海北部線

文出の他を諸基一致可決した

による第一大、第二大風水器の

△船舶の被害▲流失一、

三三二隻全沈長三、五九三隻

水害地慰問に

京城所曾では一日の辞記を建筑に一時頭を整金前頭を指導、南華及び一

畏くる御默禱

大震災を御追想

アの近附浦日三(中 内邑城高(\*)次相屋家壤倒(上) 路街の里井温たれは洗に水出(下)路線道鐵なうやの

> 交通違反檢學 鍾路署で一齊施行

> > 相当もロンドンなみに動いた、

吸傳普入小內 憲染通院兒 治室及意科科

1件つて内地、朝鮮のプラチナ た所がスペイン動揺の報でロン 関けの賦で奨タクシーに深つたと」とを調整型で関込み目下取職で中 名――が先月廿九日午朝二時の後「夜の江畔で悪ふざけをせんとした 日本のは「東京教育」の「日本の本」の「東京教育」の「日本の本」の「東京教育

人能でさへあまりのことに窓いて

カテナー気の値を十五国盛に協定の関大る突、米、 医の三ヶ國でプ 30、却も八月下旬プラチナの産 最近、物度くプラチナが急遽して

HI圓臺突破

時計と

学王職

メガネ

語

フラチナ

深夜の美人客

實施することになった

江岸に運ばる

奇怪な運轉手を捜査

もしてくれと鑑てる変に見入りつ である

日までを登通宣傳期限として松岡 | 右告記された者の中、官吏が多い 武器では去る八月廿一日から州 | に居民各自の自覚を促してゐる向 遞信關係者 神社参拜 る、相場の掲げ足は十日頃から急 ヒッチをあげて十四日十八週十九

署長以下至実置が断頭に立ち、

七暗までの廿四時間に遊反で皆迹。に対三百名の局段参郷、畷姫参郷、が、卅一日午朝七時から一日午前(九月一日も覇七時半朝鮮神宮區基 ら告題、處別、警告を與へてゐる一神作與行事の一項目として來たが 取締り期限として選反者は片端かしは毎月一日を神社老拜日として精」ころによると各國一君に軍備機 されたもの八百佾、この外指鍵の一引観いて八時から局内にて脳影捧 京城巡信分華品館に京城部使品で 毎月一日に 理とされてゐるためと大口關稅がが なし、それにブラチナが大量に必 だい臓機について支人筋の融ると 廿七日朝の中が十七間だつたの

恐するやう指導に張めたので今 進反を観察さないやうお互びに注

世 1 交通機関を規則、 今後 な 4 で の問は交通選反者をも成別せず親

**度は八月卅一日から九月二日まで** 

本府智島では九月十日を古龍変典 | 密理継長を被害地に急歌し慰問労 | 約二百名と選延後戦二時間にして 三十仞を突破してゐる風器では大い一端を閉ちた 我が方の掛響は戦死二名員場四名これを襲退したこの麒麟において 備のため此理論城し、聴らその膨より四日間常野長内に於て即艦弾 脚中の奥同院の展覧館十月十五日のため五月三日以来忠南地方館行 ·朝鮮國防飛行機戰的鹽班金調形 部所開設の主席大保田天南衛の 順南畵院 二十三周年股

所支 在 地店

山、釜山、木浦、平壤、大邱

(圣赋内安荣强)

社長 谷 多喜磨

來る十日を期し全鮮一齊に

一第二次送を通じて金額に呼びか

を説明することになった

小井上〇隊

アーと定め古蹟名筋の愛護精神が

は東京市電局でも歴光賞時寄せら 一々観察せしめることになった、な

れた同情に報いるため大々的に我

である

これには然然宮護門の務門生州

本にも服さず病死したのを追憾と で、男遊氏が第一都元氏で現役 へ、男遊氏が第一都元氏で現役 へ、男遊氏が第一都元氏で現役 へ、男遊氏が第一者元を加工氏で現役 へ、男遊氏が第一者元を加工ため、 で、男遊氏が第一者元を加工ため、 で、男遊氏が第一者元を加工ため、 で、男遊氏が第一者元を持ている。

一回に亘って単弾弾を施してある

人賣贩定指 寶 來 



安東五番組二丁目を放館開業

明和十二年九月十日 松 山 原 明和十二年九月十日 松 山 原

式株業工庫金旭 社會 三二局本语言•目了四通門大廈城京

女……ウァフ…

…とにかく時折三人一緒にな

けふの天氣

【東京電話】鉱山御用服に御淵暮中の 天皇、皇后 こせられて午朗十一時上十八分より難時御戦闘、 - 日颱東大震災十三周年の記念を畏くも御記想あ 両陛下祀に大宮側所に御在す皇太后陛下には九月

内務省から 数多の報题の傾向を含せさせ続うたとめる

俸給百分の一

全聴員が寄附

果果心治」朝鮮風水器は悪像以 たった

受俄然バス顛倒

一人重輕傷す

解析の自分の一を顧出すること、

ついて確々等力してあるが、内的では一様大民教護事業や被害地役割には一様大民教護事業や被害地役割に

日子巻十一部点が鴻磯原科の歌は「王家脇下腿(日宿)四、三〇これで「こ

水害義捐金

**募集日報**(9)

死者と行方不明者

二千二一百餘名

負傷者は二千二百餘に上る

家屋全半壞五萬五千

三〇〇個京日、毎申投京城府渡江「千川(道術助七千五百川)を誌上、「大遼〇」かる。 一月第八時通三・110年式會就中中西亞人」 府内七つの水院部に食用部に前語。道を織閣やんとじた六十五歳回の国第日で城支部放京城路内無名は、「唐を誕すこと」なり、道常開に申「お婆さんを轉成した団等手は東大人」、(〇〇〇四大阪部日前附近人)

京城府では本年度世界に約一萬八 一萬八千圓で 水防團新施設

老婆ひかる一日朝八時

保存令その他關係法規の周知

部隊の小井上〇隊は有力なる共配 

【奉天一日同盟】聞部本部隊越去

我が方死傷六名

い花館などあつて式盤は勿診、時にの直径三尺五寸にし取扱び上配。酒をのんでゴテノーから質は毘かないので滅法高いのや、大きに結びするとになつた。高さ九尺笠、復備をしたが、京境脈補三 解儀式器などの花輪には何等の制| 花輪の大きさを顔を失せん程度で 葬式の花輪 京畿道で制限を加ふ

には最外までならべられ往々交通一便たらしめるとともに資料も特等 正の支職をされずにとぬある、京 廿川以下、一等十四以下、

、から貫せ強盗

長(前路派部長)も来合せて三 度そこに佐伯道內務部村警察部長を訪問、丁

郷の三難短部長が顔を合はせた たのでことに偶然にも元・前、 は佐伯路派部長の前の蘇祭町長 人ともニッコリ ・ほくえんだわけは竹内さん

深炭値段廣告

別窜队

左 姿 突線が地部の計画 及谷川町 武田連婦人科博院内 長谷川町 武田連婦人科博院内 武田連婦人科博院内

H

因心 4 超速期低利、如何键 主于、研销电点、案内或进步; 京城安邮邮 金 足 商 會 京城安邮邮 金 足 商 會

低利貸出 迅速有利

京城府南大門通一丁目十九番地

朝鮮信託株式會配

\*・(衛を)・中心が九月三日名
\*・(衛を)・中心が九月三日名
\*・(衛を)・中心が九月三日名
\*・(衛を)・中心が九月三日名
\*・(衛を)・中心が九月三日名

会 南大門巡覧 三陸昭曾 五一三五运仕事給料加減股壓者持 大門巡覧 三陸昭曾 大門巡覧 三陸昭曾 大門巡覧 三陸昭曾

生版业丸

電話本局 五九一九番 H

ミシ ン中古品議受けたし

淡 京日案内

花柳病專門

上

消費時間

一日の番組 水堰日) 放送

い秋の傳染病の時間、丁供に多り、一時(東)年の時間、丁供に多り、一時(東)年の時間、丁供に多り、一般、京

午後零時五分(東)吹奏樂

古西 政男作曲 古西 政男作曲 音作詞 音作詞

**動程の質さの洋室の、ボタンを**一 つ押せば、窓用のパスルー人も、 正山ホテルの特別第一十二年 一然し、問題はそれからだと思ふ 旦稿子は、少しばかり機嫌を損

地球をぬけて

からには早搬此方の思惑通りにな 佐田は、同じやらに日韓子の凭れ



長▼提加

林へ架込む我代表、各々供命を果

今月の個人物語は伊藤博文です、

聲出張りあげてお様は目出度や目 | 夕月辿く読れ記も暮れて、あの路

館を渡る緑の風も春の歌窓をさく見ばる かす総器の大 空のもと、

でき合ふ、否人上胸張つて、聲は

によ、小川よお、窓に難さけよるしの水地上、顔毘常上、山管子の 一暮れて行く、行きかひ削れし懐か

九月十五日 代理店 

て、魔場な身振りで宝の中を廻り (二)毛髪の手入について「はハン」佐田 は鯱し げに 美つ 一立 (胡瓜とぐらげの白酢) 

ボー集に現けれた日本精神(二) 同七時 一分・東)朝の修養 萬栗 日 同七時 一分・東)朝の修養 萬栗

同六時二〇分(東)コドモの新聞

穞

書子中 在 盤錦 思 政 政 配 在 定 京 正 報 記 報 正 政 政 取 正 在 定 京 正 和 年 市 在 壁 路 正 正 政 正 神 原 図 行 中 五 九 子 丸 丸 岩 丸 丸 岩 丸 丸 岩 丸 丸 岩 丸 丸 岩 丸 木 丸 丸 雄 附

BB

登山出帆 代理店 日本宿丸 八九 天 海丸 八九 天 海丸 八九 天 海丸 八九 天 海丸 八九



誇!國産の弊!

天然十味葡萄酒

東洋のボルドー(浦項ミッワ) 永年苦心の結晶です 併もエキス分が<br />
豊富 ですから滋養料とし 自然の艦の甘味です ても實に優秀です

東京ミッワ石鹼本舗經營 朝鮮浦項

暖造元 ミッワ農場葡萄園

進物用化粧凾のり

